

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情 3 第 1 1 号	受理年月日	令和 3 年 6 月 7 日
件 名	区立保育園の民営化計画素案における計画決定の延期を求める陳情書		

【陳情の趣旨】

区立ひもんや保育園は 2 0 2 0 年度に行った第三者評価の利用者満足度が 9 3 % と、高い保育水準を誇る保育園です。区内最大規模の区立園で、広い園庭やテラス、田んぼや遊具、常設プールもあります。幅広い年代の保育士さんや補助職員さんによるきめ細やかな保育のもと、園児たちは裸足でのびのびとした保育園生活を送っています。保護者は保育士と信頼関係を築き、安心して子どもを預けることができます。『目黒の保育は日本一』と謳われたのも、区が「子どもたちの視点」を第一に、区立園の歴史を築きあげてきた成果であり、大変感謝しています。

しかしそんな中、2 0 2 1 年 4 月 1 5 日付で民営化計画素案のお知らせが区より配布されました。入園申込時点で知らされていなかった経緯もあって在園児保護者は動揺し、不安な思いで日々を過ごしています。このまま計画が進むと、現在 0 歳および 1 歳児クラスの在園児は転園を余儀なくされます。また、これから入園予定の園児はひもんや保育園から第三ひもんや保育園に転園した後、さらに民営化した園へ移動と 2 度の転園が発生します。転園により場所と保育士という環境が同時に変わることによって園児達が受けるストレスは計り知れません。廃園が決まった園への入園希望者が減少することにより、園児の発達に欠かせない異年齢交流の機会が失われる懸念もあります。

民営化の影響を受けるのは区立園に通う子ども達だけではありません。区立園は、障がいのある子や医療的ケアが必要な子の受け入れ、緊急一時保育などを行い、専門機関と連携しています。また、近隣住民にとっては災害時の防災拠点や福祉避難所としてなくてはならない施設です。区は区立保育園を 1 0 園存続するとしていますが、鷹番保育園、ひもんや保育園、第二ひもんや保育園、第三ひもんや保育園がいずれも閉園もしくは民営化をすれば、鷹番・碑文谷地域に区立保育園がなくなってしまうです。

区の努力により私立園が急増し待機児童は解消されました。しかし私立園における保育士の定着率の低さは改善されていません。保育士の人材不足や厳しい労働環境が問題となっている中で、地域に根差した保育を実践してきた区立保育園の保育士の人員は、削減するのではなくむしろ増やすべきと考えます。園児、保護者とも保育士と時間をかけて信頼関係を築くことで、保育園生活が安心して過ごせるのです。

区によれば、最短で 2 0 2 1 年 9 月に民営化計画が決定されます。区は保護者向け・住民向け説明会を 6 月ないし 7 月に行う予定ですが、いずれも同様の内容としています。たった 1 度の 1 時間の説明会で十分な意見交換が行えるとは思えません。保護者や地域住民を軽視した区の一方的なやり方で、このまま民営化が進められるのは到底納得がいきません。地域住民は区報やホームページを目にしない限り民営化計画素案の存在すら知ることができません。また、新型コロナウイルスの感

染拡大に対応する緊急事態宣言の延長により、保護者同士や近隣住民と情報共有をする間もありません。

一方で、ひもんや保育園の保護者有志が立ち上げた民営化計画の撤回を求める電子署名は公開から2週間で賛同者が630名以上に達し（6月4日時点）関心が高まっています。計画素案からたった数カ月で拙速に判断せず、住民に計画素案をきちんと周知した上で、何度も説明会を開いて保護者や区民の声をきき、納得のいくまで計画素案の決定をしないように区に働きかけてください。

【陳情事項】

下記の事項について、議会から区に対して働きかけてください。

- 1 十分に在園児保護者および区民の声をきき、計画素案の決定を拙速にしないように陳情します。